

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	新妻 徹	会員番号:	5868	事務局整理記入欄	北海道 - 101
分水嶺区分:	送電線65～ 111.9(H130の北)	(3)山行日:	2004年 11月 21日	(4)天候:	晴れ		

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

L新妻 徹	5868						
畠山 迪子	12850						
		計		2名		計	

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	追分変電所(NW65送電線) 111.9(往復)												
アプローチ:	札幌 千歳 追分												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点	送電線65	追分	141	47	52.3	42	52	58.3	61		11:00	B-1	8・9
H130の北	111.9	"	141	47	27.2	42	52	33.7	117	12:00	12:10	B-2	7・9
分水嶺離別点	送電線65	追分	141	47	52.3	42	52	58.3	61	13:00		B-1	
歩行終了点													
総歩行時間(休憩時間を除く):											1時間50分		
分水嶺距離											1.1km : その他距離 km		

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H130の北	不明	不明	正常	良好	約1.5mの棒が立ててあり、ピンクのビニールテープ結付けあり

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

標高100m付近まで農道となっている。

(9)水および植生に関連した特記事項

樽前山噴火時の火山灰地層が全体を形成し、笹の分布も弱い。

(10)その他の特記事項

初冬にしては珍しい晴天で、ブッシュ漕ぎも少なく追分変電所の北西農道上に駐車し、今年の5月24日トレースの続きを実施出来た。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: